

令和元年度 第4回菊川市地域公共交通会議

会 議 録

場 所	庁議室（本庁舎2階）	日 時	令和2年1月9日（木） 午前10時00分～午前11時17分
-----	------------	-----	----------------------------------

報告事項

- 1 開会 （鈴木地域支援課長）
- 2 あいさつ （赤堀副市長）
- 3 議事
 - (1) 令和2年度からのコミュニティバスの運行について【報告】
 - (2) 静岡県生活交通確保対策協議会への申し出事項について【協議】
 - (3) 静岡県地域間幹線系統確保維持改善事業評価について【協議】
- 4 その他

(次頁から議事録を掲載)

議 事 録

1 開会

●事務局

地域公共交通会議を開催する。

出席者委員16名のうち14名が出席。出席委員が過半数を超えているため、菊川市地域公共交通会議設置要綱第6条により会議は成立。

2 あいさつ

●赤堀副市長

〈あいさつ〉

3 議事

●事務局

これより議題に入るが議事の進行については、菊川市地域公共交通会議設置要綱第6第1項の規定により会長に議長をお願いする。

(1) 令和2年度からのコミュニティバスの運行について【報告】

●事務局から説明

前回の公共交通会議においていただいた意見についての検討内容及び結果について報告。また、デマンド試験運行について検討状況を資料に基づき報告。

・運転手の休憩時間の確保について

西方コース、沢水加コース、丹野・嶺田コースの時刻表において、運転手の休憩時間が確保できていないという指摘をいただいた件について、第1便の出発時刻を早めるなどして、規定の休憩時間を確保できるように時刻表を修正した。修正内容については、運輸支局に確認をしていただいている。

・西方コースの第1便の運行ルートについて

西方コースの第1便において、時間帯の通行規制により、「島川公会堂」及び「堀之内小学校」の停留所を迂回し、県道を走行することについて、再度検討するよう意見をいただいた。時刻表の時刻どおりに試走したところ、県道は非常に渋滞しており、バスを停車できるような場所もなかったため、県道にバス停を設置することはさらに渋滞を招く可能性が高く難しいと感じた。また、第1便のみ西方地区内を逆回りにすることで、規制のかからない東側から「堀之内小学校」及び「島川公会堂」を通ることも考え試走もしたが、対向車を含め他車両も走行しており、児童の姿も見られた。児童の安全を優先的に考えたいということや第1便のみ逆回りになり複雑になるため、利用する方の混乱を招く可能性が高いことなどから、令和2年度については、当初の時刻表のとおり運行し、地域や利用者の意見をいただく中で、次年度の運行見直しの際に再度検討していくということとした。

・デマンド試験運行の検討状況について

昨年末に市内のタクシー事業者と話をさせていただいたところ、堀之内タクシー(株)は事業に協力したいが、諸事情により協力することが難しいという返事をいただき、菊川タクシー(有)は協力していただけるということであったので、菊川タクシー(有)へデマンドの試験運行をお願いすることとなった。運行の概要については前回説明をしたものと大きな変更点はないが、時刻について出発時刻だけでなく到着時刻等の目安の時刻もあったほうが利用しやすいという意見をいただいたので、括弧書きで目安の時刻を記載した。また、市民向けの案内チラシの案を作成したので、資料として配布させていただいた。公共交通会議において、デマンド運行という表現はわかりにくいという意見もいただいたので、菊川乗合タクシーという形で作成した。乗り場MAPと時刻表は画質が悪いものを仮で入れてあるが、きれいなものにする予定でいる。電話番号等の未確定な部分についても今後整えていく。

意見・質問

○委員

乗合タクシーという名前は一般的であるが、愛称をつけてやっているところもあり、そのほうがみんなに呼んでもらいやすいし、親しみも持てる。そのあたりをどうするかをもう少し考えたほうがよい。チラシの乗り場MAPについてきれいにするというのは、この大きさのままを考えているのか。

●事務局

大きさとしてはこの大きさを考えている。

○委員

配布方法は広報か何かといっしょに配布するのか。

●事務局

運行方法がデマンド運行に変わるバスの車内へ配架したり、窓口などでの配布を考えている。全戸配布するものとしては、毎年作成し全戸配布している時刻表の冊子を考えている。

○委員

全体を見せるためには仕方ないが、可能であればある程度地域が決まっているのであれば拡大版を差し込んだほうが分かりやすいと思う。バスを利用している方に対しては、今までのバス停と変更があるのはこことここですというような周知があるだけでも違う。この大きさでは難しい。

時刻表にフリー乗降、フリー降車とあるが、デマンドの場合どのようにするのか。

●事務局

デマンドの運行についてもフリー乗降、降車については実施したいと考えている。デマンド運行はバス停からバス停の運行になるので、あくまで路線上でということ考えている。

○委員

ルートが決まっていない運行の中で、例えば利用者がここを通過してくださいということや自宅前で降ろしてということになれば、それはよいのか。

●事務局

ルートは最短距離で運行するが、フリー乗降については、路線上の区間でないとできないということ考えている。

○委員

フリー乗車は予約をしなくてもよいのか。それとも予約をその路線上でするのか。

●事務局

フリー乗車区間の路線上の場所を指示して予約してもらおうという考えでいる。

○委員

病院発の便が多いが、病院で予約をしてくれるところもある。病院でなくても買い物したら店員さんが予約してくれるお店もある。そのような考えはあるか。

●事務局

今のところはそのような考えはなかったが、病院と話をしてみたいと思う。

○委員

利用する日の前日や朝に病院へ行く予約をして、あわせて帰りの予約もすることが多いと考えられるが、時間がかかってしまって乗れなくなってしまったという場合はどうするのか。次の便に変えたいということが多いと思われる。

●事務局

キャンセルの連絡は1時間前までにするようにお願いしたいと考えているが、おっしゃるとおり病院の診察が長引いて連絡ができないというようなことも考えられる。そのケースは具体的に考えていなかったなので、よい方法がないか検討する。

○委員

できるだけ利用者が困らないような柔軟な対応を考えていただきたい。
今回の試験運行は登録制ではないので、電話番号等の登録はしないと思われるが、予約する時に電話番号は聞くのか。

●事務局

急なキャンセルやバス停から乗車することになるので、バス停に行ったのにいないというケースも考えられるため、事業者とは電話番号も確認する必要があるのではないかという話をしている。

○委員

チラシのMAPにデマンドという表記があるが、利用者にとってわかりにくいので名前が決まったら修正を。チラシの1ページ目に令和2年4月から運行しますとあるが、既存のバスがなくなるので、なくなるという情報も提供しないといけない。特に今の利用者に対してはかなり熱心に周知しないと、4月1日から同じバスに乗ろうとしたら来ないということがあり得るので、ぜひお願いしたい。デマンドだけでなく定時定路線も変更があるがその周知はどのように考えているのか。

●事務局

他の路線については、全戸に配布する時刻表を変更する部分をわかりやすい形で周知したいと考えている。

○委員

時刻表の配布はいつぐらいか。

●事務局

具体的にいつということはまだ決まっていないが、3月のなるべく早い時期にと考えている。

○委員

大変だとは思いますが、運転手に3月に利用された方に、4月から変わりますよということを周知してもらおうこともよいと思う。

●事務局

座席の前にチラシを掲示することと、バス停にも時刻表の張替え作業があるのでその際に変更がわかるような表示をしていく。運転手からの周知については運行を委託している事業者と話をしたいと思う。

○委員

この4月から乗合タクシーに変わるという部分の周知が不足していると感じる。変更となる2系統が他の情報と同じ文字の大きさと書かれている。この2つのコースが予約に変わ

るということはもっと大きく示したほうがよい。1つの案として、一番目立つところに奈良野・布引原コースと三沢・河東コースはコミュニティバスから予約制の乗合タクシーに代わりますということを目立つように書いたほうがよいと思う。

○委員

確認だが、フリー乗降について、フリー乗車は予約が必要で、フリー降車は路線上の区間であればそこで降りられるということではいか。

●事務局

はい。

○委員

こういうケースがあるかわからないが、4人以上の予約が固まった場合、どのように対応するのか。

●事務局

事業者とも話をしたが、ジャンボタクシーも所有されているので、使用できる状況であればそういった対応も考えている。また、車両2台による運行ということも考えている。

○委員

今の2台というのはジャンボタクシーが2台ということか。

●事務局

4人以上となった場合、ジャンボタクシーまたは普通車両2台で対応ということである。

○委員

車椅子の方の受付について記載があるが、運行時間帯が近い便や同じ便で予約があった場合、対応できるのか。

●事務局

車椅子に対応した車両も複数所有しているということであったので対応は可能と考えている。

○委員

先ほど言われた乗合タクシーという名称について、私もかたいと思うのでもう少し親しみやすいほうがよいと思う。

■会長

コースに動物の名前がついているが、そういうことではなくて。

○委員

動物の上の名前が乗合タクシーという部分になると思う。その部分をもう少し柔らかいものにしたほうがよいと感じた。

■会長

例えば、何かあるか。

○委員

ちゃこちゃんタクシーとか。

■会長

いい名前だと思う。この点については事務局でどのように考えるか。時間をかけて検討するか。

●事務局

この場で回答ができないので、これから愛称について考えていきたいと思う。

○委員

地域の方が自分たちのところを走るバスということを意識してもらいたいので、地域の方に考えてもらうのが親しまれるものとなる。豊橋市では「愛のりくん」とか「柿の里バス」といった地域の有名なものを使ったりしているが、そういうもののほうがいいかなと思う。あまりトップダウン的につけてしまうのは。

■会長

今すぐに結論というわけにはいかないのですが、事務局の検討課題ということでこの場はよろしいか。では、そのように計らってもらう。

■会長

「令和2年度からのコミュニティバスの運行について」承認される方は挙手を。

<賛成者挙手>

挙手全員。「令和2年度からのコミュニティバスの運行について」は先ほどの課題もあるが、承認されたものと認める。

(2) 静岡県生活交通確保対策協議会への申し出事項について【協議】

●事務局から説明

市が自主運行事業を実施する場合、また事業者が幹線系統の運行をする場合、次年度以降の運行について、地域公共交通会議の合意を得て静岡県生活交通確保対策協議会へ申し出ることになっており、地域公共交通会議において協議され、認めていただく必要があるため、コミュニティバスの定時定路線運行及びデマンド運行、萩間線、菊川浜岡線の病院系統について、協議をお願いしたい。

各運行について、現年度の運行と次年度の運行計画を比較し、変更点について主に説明。

・コミュニティバスの運行について

路線変更やデマンド試験運行の実施に伴う変更が主である。

定時定路線運行の事業者が次年度から変更となる。昨年末に入札を行い、ミズノグループ㈱に決定した。委託期間は令和2年度から4年度の3年間である。

・萩間線の運行について

萩間線は、相良営業所から金谷駅と相良営業所から金谷小学校の2系統があるが、相良営業所から金谷小学校の系統について路線が一部変更となる。路線図を資料で配布したが、青い部分に変更となる部分で、この地区の牧之原小学校へ通う小学生が学校まで非常に距離があり、バスを利用して通学したいという要望があった。また、道路が整備されたということもあり、路線を変更したいと牧之原市から申し入れがあった。路線が延長されることにより全体の事業費は増額となるが、菊川市の路線の割合が減るので、負担金額としてはほとんど変わらないということで、デメリットもないため承諾させていただいた。

利用状況は朝晩の利用が多く、利用者の内訳としては小学生を含む学生が多い。平成30年度の利用者数は、平成29年度と比較して5千人程度減少しているが、平成25年からの人数と比較すると平均的な人数であった。運賃収入は増加傾向にあるが、運行委託費がそれ以上に増加しており、欠損額及び菊川市の負担金額はほぼ毎年増加している。

- ・菊川浜岡線（菊川市立総合病院系統）の運行について
次年度以降も大きな変更はなく、運行を継続していく計画である。

意見・質問

○委員

この資料は県の様式か。

○委員

会議に諮っていただくときには、市ごとにわかりやすいものを作っている。

○委員

気になったのは経費等の欄はあるが、利用者に関する情報がない。経費を抑えつつ利用者を増やすということが大きな目標であるため、利用者の情報があつたほうがよい。経費が増えていることはわかるが、利用者も増えているなら悪いことではない。萩間線の利用者の情報は出ているが、コミバスや菊川浜岡線も出して、総合的に評価するのがよい。

●事務局

今後、資料を作成する際には、利用者数等も含めて作成する。

○委員

しずてつジャストラインの利用者数などの情報は提供していただけるか。

○委員

利用状況については提示することができる。

●事務局

現時点での本年度のコミュニティバスの利用状況について、以前の会議において平成29年度から30年度にかけて利用者数は増加したという報告をしたが、本年度も前年度と比較すると利用者数が増加している。11月の利用者数は少し落ち込んだが、それ以外の月は増加している。本年度から運賃免除者の数を調べているが、約3割の方が運賃免除で利用している状況であるということがわかっている。

○委員

資料にデマンドの試験運行について、出前行政講座等でバス利用を呼び掛けると記載がある。2年程前に乗り方の動画を作成して高齢の方などに周知しているかと思うが、動画はわかりやすいイメージしやすいと思うので、デマンド運行についても大変かもしれないが動画を作成して周知することがよいと思う。

■会長

「静岡県生活交通確保対策協議会への申し出事項について」承認される方は挙手を。

<賛成者挙手>

挙手全員。「静岡県生活交通確保対策協議会への申し出事項について」は、承認されたものと認める。

(3) 静岡県地域間幹線系統確保維持改善事業評価結果について【協議】

●事務局から説明

県の事業として実施している地域間幹線系統確保維持事業において、毎年運行事業者による自己評価を行い、その評価結果に対する市の取組方針等について県へ報告することとな

っている。取組方針等については、地域公共交通会議で協議し承認をいただいた上で提出することとなっているので、県及び事業者の説明を受け、その内容に基づく取組方針等の事務局案について、協議をお願いしたい。

地域間幹線系統とは、複数の市町を跨ぐ路線で、事業者単独の維持が困難であり輸送量や運行回数の条件を満たし、国・県の補助を受けて運行を維持している系統をいい、菊川市においては、菊川浜岡線の菊川病院系統が該当する。

● 県から評価概要及び評価結果について資料に基づき説明

地域幹線系統の国庫補助対象期間は10月1日から9月末までで、今回の補助対象期間は平成30年の10月1日から昨年(平成29年)の9月末までとなる。この補助対象期間の運行がどうだったかを県の生活交通確保対策協議会が自己評価をして国へ報告しなければならないこととなっている。そのために毎年9月末以降に運行がどうであったかという評価を行っており、この時期に各市町の公共交通会議の議題に取り上げていただいている。

評価結果がAだから運行が順調であるとかCだから危険であるというのではなく、今回の評価はあくまで現状を把握するためのものである。この評価に現れない運転手不足やICTの進展など乗合バス事業を取り巻く環境が変化しているため、引き続き地域公共交通会議において、幹線バスを含めた実態の共有と利用促進の検討ができればと思う。

● しずてつジャストライン(株)から評価結果について資料に基づき説明

菊川浜岡線の病院系統について、項目ごとの評価基準に基づき点数を出すと、合計39点となり、評価指標はB評価となった。B評価は26点から51点の範囲であり、地域間幹線系統として適した運行となっているという結果である。

乗車人員について前年度実績の計画値から大きく減少しているが、乗降調査の結果によるものであり、その日に乗った人が多かったか少なかったか、また、小笠高校の生徒の利用状況等によって数字は大きく変わる。系統別の利用者数は出しづらいが、路線の利用者数については国に正確な数字を出しているため、事務局に提供する。

路線の利用状況については、利用している方の7割が菊川市民、3割が御前崎市民となっている。菊川市は菊川駅前、西横地、赤土の3箇所、御前崎市は、浜岡営業所、浜岡総合運動場、苗代田の3箇所が利用のメインとなっている。利用者の4割が通学者。菊川病院の通院に利用している方は非常に少なく1%程度である。コミュニティバスが市内各地から接続されていることや運賃の問題もあると思っている。御前崎市には駅がないので、菊川駅へ接続しているこの路線については重要視していただいている。この路線については、国・県・市からも補助をいただいているが、新たな増収の施策や経費削減に向けて努力していく。増収・増客に向けては市と事業者で協力していきたい。

● 事務局から県・事業者の説明の内容を踏まえた次年度の幹線系統維持に向けた市の取組方針等の事務局案について説明・協議

意見・質問

○ 委員

資料によると菊川浜岡線の病院系統の利用者数が減ったように見えるが、感覚的にはどうか。全体のデータは持っているということであったが、全体としても減ってきているのか、幹線系統ぐらい、2割・3割減っているのか。

○ 委員

ここまで大きな減少はないが減少傾向にある。会社全体としては人口減少とともに利用者数が減ってきていたが、ここ1・2年の話だと市街地を含めて減少は止まって、若干増加しているところが出てきている。中西部地区の路線については減少傾向が続いている。

○ 委員

これは1日のOD調査の結果から運行日数を掛けたものか。

○委員

そのとおりで1回の調査結果を年間に引き延ばすという方法で出している。

○委員

たまたま利用者が少ない日に調査をしたから大きな開きがあるのか。

○委員

そういった部分もある。

○委員

毎年この数字は出してもらっていると思うので、何年かを比較していただきたい。ばらつきがある中でも減少傾向が掴めると思うのでもう少し長期的な資料を出していただきたい。地域間幹線系統もコミバスだけでなく、なくなってしまうと非常に困るので、この場でしっかり菊川市としてどのように応援していけるかということ協議することは重要である。

■会長

「静岡県地域間幹線系統確保維持改善事業評価結果について」承認される方は挙手を。

<賛成者挙手>

挙手全員。「静岡県地域間幹線系統確保維持改善事業評価結果について」は、承認されたものと認める。

■会長

本日の議事は以上で終了となる。進行を事務局にお返しする。

●事務局

全体を通してご意見・ご質問等ありますでしょうか。

●事務局

本日宿題になった点については、年度末までに再度お集まりいただくのは難しいところもあるので、会長と先生と相談する中で、書面で報告することになるかもしれないがご承知おきいただきたい。

●事務局

長時間にわたりご協議いただきありがとうございました。
互礼をもって終了します。

以上